



大阪医学統計学セミナー 第5回

Osaka Biostatistics Seminar

12月12日 (火)

18:00~19:30



場所

CoMIT 4F 会議室B,C

最先端医療イノベーションセンター

<http://www.comit.med.osaka-u.ac.jp/>

マイクロシミュレーションによる (大腸) がん罹患率・死亡率の変動予測

講演者: 福井 敬祐 (大阪国際がんセンター)

概要:

マイクロシミュレーションは様々な統計データを元に作成された対象集団および個人の変数(がん発生率や検診受診率、他死因死亡率など)の影響を考慮して、対象の時間変化によるがん罹患・死亡の状況を試算する手法であり、予防・検診・治療などの介入効果の影響を客観的に評価することができる手法として有用である。がんの罹患率および死亡率は、対策により、コントロールが可能である。具体的には、がんの発生要因である感染や喫煙を減らす予防対策、死亡率減少効果のあるがん検診、生命予後の改善につながる治療を広く普及させることにより、がんの罹患または死亡を減らすことができる。しかし、対策によって適用範囲や効果の大きさ、必要な資金は異なり、対策の選択が必要となる。疾病の罹患や死亡を減らすための対策や治療の効果は、大規模な疫学研究や臨床試験で検証されるが、予防、検診、治療の各分野で新たな集団介入の手法が開発されており、それらの組み合わせや対象年齢の設定などについて実証的研究で答えを出すのは困難である。

本発表では、マイクロシミュレーションを用いて大腸がんの罹患率や死亡率の変動を様々な介入効果の影響を考慮したうえで試算した結果を紹介する。

お問い合わせ: 大阪大学大学院医学系研究科・医学部 医学統計学講座

E-Mail: office@biostat.med.osaka-u.ac.jp TEL: 06-6879-3301